

瓦版 12月のご挨拶

みなさん、2003年も後わずかとなりました。今年を振り返ると(株)アキにもいろいろ変化がありました。

- ・まずは新入社員の嶋田さん。入社してすぐ実践あるのみの状態で本当に良く頑張ってくれています。今のまま・で新しい情報・知識をどん欲に吸収して欲しいと願っています。物事を簡単に終わらせず“なぜ? どうしてこうなる?”と言う気持ちをずっと持ち続けてください。
- ・次はホームページの刷新です。塚本さんが頑張ってくれました。おかげで毎日100名 前後の方々が“こだわりの木の家”のホームページを訪れてくれています。まだ観ていないという方は、是非一度みてやってください。そして感想をお聞かせ下さい。これからも どんどん内容の充実を図っていきます。ホームページのアドレスは<http://www.k-aki.com>です。よろしく願います。
- ・次は事務所の移転です。五郎丸事務所を増築して平桜事務所のメンバーが五郎丸に集結しました。仕事の能率、意思の疎通にも役に立っています。また、壁・天井をドライウォールで仕上げたり、床をオークやレッドパインなどの無垢材で仕上げたりと、皆さんに見て頂いても楽しい事務所ですので気軽にお寄り下さい。
- ・建築施工だけのISO9002から 設計・施工・アフターを含めたISO9001,2000年度版に無事移行出来ました。片岡さんの奮闘努力のおかげです。ご苦労様でした。ISOを生かし、アキの家をグレードアップさせていきます。
- ・そして、歳暮れめがけて10mの長さの材料まで乾燥できる木材乾燥機の設置をしました。試験乾燥の結果も上々でした。来春から本格的に移動します。どうぞご期待下さい。

そして、来年はさらなる変化の年にしなくては!と思っています。それもこれも【いい家が欲しい!】と願っておられる皆様へ何とかして応えていかなくては・との想いからです。まだまだ成長途中の(株)アキではありますが今後とも どうぞよろしくお願いいたします。



代表取締役 加藤明博

(株)アキの【かわら版】一年間 ご愛読ありがとうございました。皆様の“いい家づくり”の参考になれば幸いです。来年も役に立つ【かわら版】を目指して、より新しい情報・楽しい情報をご紹介出来るよう頑張りますので、よろしく お願いいたします。



編集担当 塚本由紀

(株)アキ施工例

(株)アキ事務所



お施主さまへのサービス向上を目指して、平桜(小矢部インターのそば)にあった建築設計部を五郎丸本社事務所に移す為、手狭になった五郎丸事務所を増築しました。



かわら版へのご意見・ご質問は

建築設計部 担当 片岡まで
0766-69-1230

お問い合わせ

今、静かなブームです！

老後のリフォームについて調べてみました！

体が不自由になったから介護用にリフォームするのではなく、体が元気だから、老後を快適に過ごす為に・・・そんなリフォームが今、ブームになっています。



「自分の一生涯の時間はどの位あるのか考えた事がありますか？」自分が生まれてから死ぬまでを時間に換算して考えるのですが、

1日24時間×1年365日×平均寿命80才＝約70万時間

つまり、80才まで生きると約70万時間あるという計算になります。では、その約70万時間という長い時間の内「我が家」にいる時間はどのくらいだと思いますか？

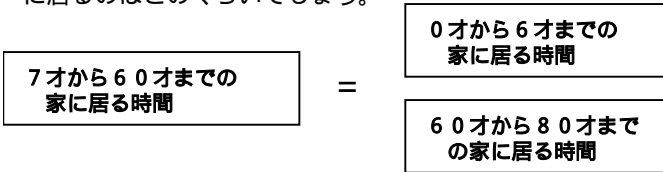
< 平均的な人の時間の流れ > ()内は家に居る割合

- 0才～6才の幼少期 約5,3万時間・・・ほとんどを親と一緒に過ごし家に居る(4/5程度)
- 7才～18才の学生期 約9,6万時間・・・学校にいる時間が増える(2/3程度)
- 19才～30才の自立期 約9,6万時間・・・自立し活動範囲が広がる(2/4程度)
- 30才～60才の就業期 約26,5万時間・・・仕事中心の生活 家に居ない時間が増える(2/4程度)
- 60才～80才の引退後 約18,5万時間・・・家に居る時間が大幅に増える(4/5時間)

「家に居る時間」は学生期や就業期でも ある程度あるように見えますが、実際には家に居ても睡眠時間が中心で“家でくつろぐ”時間は ごくわずかな時間しかありません。逆に幼少期と引退後は一日のほとんどを家で過ごしている事になります。

70万時間(生涯時間)の1/2は睡眠時間=実質活動35万時間

“人生の半分は睡眠時間”だとすると、活動している時間の中で“我が家”に居るのはどのくらいでしょう。



家に居て活動している時間のほとんどは 0才～6才と 60才～80才までという年齢に集約しているようなのです。

親が世話をしている幼児期にはそれほどの不都合は感じないものの、子供達の成長に追われて建てたり増築した家では、老後と呼ばれる引退後には不都合が生じるのは避けられません。核家族化が進んだ現代では若い世代に合わせて我慢するより老後を楽しく過ごしたい・・・そんな風潮が主流となり、最後に子供の為に無く自分達の為に“いい家”を計画されるご夫婦が増えているようなのです。絵画や料理など趣味を楽しむ為の空間、囲炉裏や暖炉などの趣向品を置きたい・・・死ぬ間際まで我が家で過ごしても周囲の人達に迷惑を掛けずに済む家・・・など希望は様々ですが“リフォームする事”自体が一つの楽しみらしいのです。

体が元気であるうちに、心も体も元気で居られる家にしたい！

生涯時間の中で家に居る時間が一番長い老後をどう過ごすのか・・・そう考えて“リフォームする”それが 今ブームとなった理由のひとつようです。

家のライフサイクルコストってご存知ですか？



ライフサイクルコスト

【らいふさいくろ・こすと】

ライフサイクルコストとは、建築費・改築費・メンテナンス費・冷暖房費・解体費など、住まいの一生にかかる諸費用の総計。

年間ライフサイクルコスト

【ねんかん・らいふさいくろ・こすと】

年間ライフサイクルコストとはライフサイクルコストを耐用年数で割ったもの。実質的な住まいの価格の判断基準として用いられる。



30年耐用住宅と60年耐用住宅の年間ライフサイクルコストを比較してみましょう。

..... 45坪2階建ての試算例です。

30年耐用住宅

年間ライフサイクルコストは割高に

子どもたちに個室を確保するために間仕切りするなど、リフォームを1回実施することを想定。新築費用が2700万円くらいなので経済的に見える。しかし年間ライフサイクルコストは、124万円。しかも30年後にはまた建て替えが必要に。

60年耐用住宅

なんと1年あたり34万円もお得

45年目には二世帯住宅への改築も想定。新築費・メンテナンス費・改築費ともに金額は大きくなるが、年間ライフサイクルコストは90万円。30年耐用住宅より1年で34万円もお得。しかも60年間住み続けられる。

	30年耐用住宅の場合	60年耐用住宅の場合
新築費(周辺工事を含む)	2,700万円	3,000万円
メンテナンス費用 屋根/外壁/外装金物 塗装 設備交換	30年間で 600万円 100万円	60年間で 990万円 400万円
生活に伴う改築費用	1回で 100万円	3回で 700万円
解体費用	225万円	300万円
ライフサイクルコスト	3,725万円	5,390万円
年間 ライフサイクルコスト	÷30年= 124万円	÷60年= 90万円



株式会社アキではソーラーサーキット工法やKES構法を採用し、家の寿命を60年以上確保できるよう提案しています。また家の寿命ばかりではなく、生活する人の暮らしも快適に健康であるように「こだわりの木の家」として実行しています。